

令和7年度 学校案内 稲沢市立下津小学校



＜学校概要＞

本校は植木のまちとして知られる稲沢市の北東部に位置しています。

校区は、JR東海道本線の東側に位置し、旧国道に沿って工場・商店・住宅などが多く並びます。JR稲沢駅東口の再開発に伴い、住宅・店舗が急増した地域です。

一方、古来、交通の要地として栄えた校区には、下津城址などの史跡をはじめ、阿弥陀寺などの古刹や伝説、民話など多くの文化遺産が残っており、社会科や生活科・総合的な学習の時間などの学習で利用しています。

R7.4現在	学級数	児童数
1年生	3	76
2年生	3	76
3年生	3	107
4年生	3	106
5年生	3	92
6年生	4	114

学級数24(内5学級は特別支援学級)
児童数571名

＜連絡先＞

〒492-8052 愛知県稲沢市下津ふじ塚町83番地
TEL 0587-32-7612 FAX 0587-32-7609
Email es-orizu@inazawa-aic.ed.jp
HPアドレス <http://www.inazawa-aic.ed.jp/eoris/>



＜1年間の主な行事＞

4月	入学式 学校公開 PTA総会 新入生歓迎会	9月	奉仕作業
5月	校外学習 修学旅行	10月	運動会 地区運動会 校外学習
6月	福祉実践教室 学校公開 緊急時引き渡し下校訓練 交通安全教室	11月	野外教育活動
		12月	下津っ子まつり
		1月	持久走大会 緊急時炊き出し訓練
		2月	学校公開
		3月	卒業式



教育目標

主体的に学ぶ意欲や思いやりの心を持ち、知・徳・体の調和のとれた心身ともに健全な児童の育成

スローガン

みんな輝け 下津っ子

めざす児童像

よく考える正しい子

個性と創造性の伸長

力いっぱいたくましい子

ねばり強さと自律心の育成

仲よく助け合う子

豊かで温かい心の涵養

わかる・できる授業を土台として、自ら学び、高め合おうとする下津っ子を育てています



- ・タブレットPC等のICT機器やデジタル教材、具体物を効果的に用いたり、学習課題やまとめを明示した板書を心がけたりして、わかる・できる授業に努めます。
- ・「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させ、主体的・対話的で深い学びの実現を図ります。
- ・学びたい、追究したいと思える課題を設定し、ペアやグループでの学び合い活動を積極的に取り入れるとともに、課題に対する振り返りを促すことで、成長を実感できる授業に努めます。

～地域とともに未来をたくましく生き抜く下津っ子を育てよう～



学校運営協議会



- ・学校運営協議会を核として、子どもの教育に対する課題や目標を共有し、学校・家庭・地域が一体となって子どもたちを育む「地域とともにある学校づくり」に努めます。
- ・体育振興会やまちづくり推進協議会と連携し、各種行事を行うことで、子どもたちの豊かな心を育みます。
- ・地域の方による農業指導や、出前授業、施設見学、まち探検など、様々な体験活動や地域の資源を活用した教育活動を通して、地域に愛着をもつ児童を育てます。
- ・地域ボランティアの方による読み聞かせで子どもたちの豊かな想像力や心情を育てたり、スクールガードによる見守りで登下校の安全を図ったりしています。

魅力ある教育活動として、児童の主体的・体験的な活動を大切にしています



- ・下津っ子まつりや児童集会、学級活動など、児童主体の学校行事や活動を計画することで、自分の力を信じ、進んで行動できる児童を育てます。
- ・農業体験や、地域の方をゲストティーチャーとして招いた体験活動、校外での学習を通して、人と関わる力を育てます。
- ・定期的に避難訓練やシェイクアウト訓練を行い、「自分の命は自分で守る」という意識を高め、緊急時に的確に判断し、安全に避難できる能力を育てます。

思いやりや助け合いの心を大切にし、いじめのない学校づくりに取り組んでいます



- ・「お・み・そ・あ・じ」（思いやり・身だしなみ・掃除・挨拶・時間）を意識して行動できる下津っ子を育てます。
- ・よいところを認め合い、尊重し合う活動を通して、一人一人が安心して生活し、互いの個性を大切にできる居場所と絆のある学級づくりに努めます。
- ・いじめのない学級・学校を目指して、特別の教科「道徳」や「人権を考える取組」等で思いやりについて考えさせ、豊かな心を育てます。
- ・相談活動を充実させ、いじめや問題行動の早期発見・早期対応に努めます。